

<p>横浜市小学校社会科研究会</p> <p>中学年部会</p> <p>研修会記録</p> <p>第3号</p>	<p>令和2年 12月2日</p> <p>横浜市小学校教育研究会 会長 相澤 昭宏</p> <p>横浜市小学校社会科研究会 会長 梅田 比奈子</p> <p>同 学年部長 岡村 伸一郎</p>
---	--

<p>【提案日時】</p> <p>10月 7日（水）</p>	<p>提案 比嘉 将来 先生（横浜市立西富岡小学校）</p>
<p>【会 場】</p> <p>横浜市立丸山台小学校</p>	<p>提案 金井 伸一 先生（横浜市立西富岡小学校）</p> <p>司会 研究推進部 記録 学年運営部</p>

【3年部会】提案者：比嘉 将来先生

单元名：横浜市の様子の移り変わり～海岸線から見える横浜市の移り変わり～

<全小社における3年生の各クラスの見どころ>

1組 吉川級

横浜市中期4か年計画を基に、子どもが分かりやすい言葉で作成した「子ども版横浜市中期4か年計画」を活用し、横浜市の未来について自分なりの思いをもち、表現していく。

2組 廣田級

横浜市の人口の移り変わりについて、グラフや地図を用いた土地利用の様子の変化などを通して、「時期や時間の経過」や「位置や空間の広がり」といった社会的事象の見方・考え方を働かせながら追究していく。

3組 比嘉級

富岡海岸に着目し、子どもの思いと事実のズレから「たくさんの人でにぎわっていたのに、なぜ富岡海岸を埋め立ててしまったのだろう。」という本気の学習問題を追究していく。

【4年部会】提案者：金井 伸一先生

单元名：小田原蒲鉾の伝統を支え、発展に努めえる人々からみるまちづくり

学習指導要領と材について

県内の取り上げる三つの地域

- ・国際交流に取り組んでいる地域→鎌倉市
- ・自然環境や伝統的な文化を保護・活用している地域→三浦市

・地域産業が盛んな地域→小田原市

小田原市は昔からある練り物技術を生かして、市と市民が協力して新しい「町おこし」に取り組んでいる地域

→「人々との協力」をつかむことができる。

1組 広田級

小田原市の名産品を知る過程を通して、小田原市の名産品はどれも長い歴史があることが分かり「なぜ、古くから伝わる有名なものが多いのだろう」という大きな学習問題をつくっていく。

2組 村上級

小田原おでんと伝統的な蒲鉾の製造過程を比べることで、伝統ある練り物技術・食品加工技術を生かした魅力づくりをしていることを追究していく。

3組 金井級

発起人が小田原おでんをかまぼこ業者全社を集めて始めようとした理由を話し合うことを通して、かまぼこ業者・市民・市役所が連携してまちづくりを進めていることを追究していく。

文責 関口 暁之（永谷小学校）

小沢 暢志（獅子ヶ谷小学校）